

2010年以降に顎変形症の診断のもと顎矯正手術を行ったみなさまへ

この度、当病院において下記内容にて研究を行うこととなりました。

研究課題名：複合現実(Mixed Reality : MR) 技術を用いた顎矯正手術の

さらなる精度向上の試み

今回の研究では顎矯正手術を MR による投影を行って手術した群と、今までに顎変形症の診断のもと顎矯正手術を従来通りの計測のみで行った手術群で、術中の手術時間・知覚の低下の発生率、精度を比較します。それに伴い2010年4月から2021年3月に手術を行った患者様のデータを使用させていただきます。この研究の成果は、学会発表や学術誌、データベース上などで公に発表されることがあります。ただし、個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

研究期間は倫理審査委員会承認後から2024年3月31日です。

個人識別情報を含む情報を保護するため、データ等は情報管理者により匿名化された後、解析に用います。具体的には、研究をする者が全てのデータを番号化し、直接の研究者および部外者に個人の特特定できないように

した後、解析に用います。個人識別情報の保管には、他のコンピュータと連結されていないコンピュータを用いることとし、その情報は外部記憶装置に保存して、個人情報管理者が厳重に管理します。本研究終了後（誌上発表後）、既に匿名化された資料はシュレッダー等で粉砕、廃棄します。またデータ等も消去します。

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

本研究でのデータ使用に同意頂けない場合は、不同意書の提出をお願いいたします。詳細は下記お問合せ先へご連絡下さい。

お問い合わせ先 東京歯科大学口腔外科受付

電話 03-5275-1725

研究責任者 口腔病態外科学講座 片倉朗